

【優良賞】救命特化型画像診断AI「ERATS」



株式会社fcuro

大阪府大阪市旭区
<https://fcuro.com/>

代表取締役CEO
岡田 直己氏

救命特化型画像診断AI(人工知能)「ERATS」は、1分1秒を争う救急救命の現場で患者のコンピューター断層撮影装置(CT)診断を行う医師を支援するシステム。数百枚から1000枚以上の全身CT画像を瞬時に読み込み、平均10秒以内で損傷の可能性が高い部位を特定する。焦点を当てるべき画像がハイライトされるため、迅速で正確な診断が可能となる。

救急医療においてCT検査は異常箇所の見逃しを防ぐために必須だが、緊急読影には最短でも5分以上要する。膨大なデータの把握に時間がかかることが初期診断の遅れの要因となり、救命できない事態も発生しているのが現状という。ERATSはこの緊急読影の時間を短縮し、診断の遅れや見落としが原因の死をなくすことを目指す。

開発は同社の岡田直己社長が診療主任を勤める大阪急性期・総合医療センターと共同で行った。搭載するAIは、国内外の大学病院・救命センターより収集した1万症例規模の画像データを用いて損傷箇所をラベル付けするアノテーション作業を行い、機械学習させることで開発。現場医師の評価やフィードバックを得て改善を続け、複数の医療現場で高精度となることを検証した。

2025年9月より大阪急性期・総合医療センターで臨床効果を検証中。国内の救急指定病院を対象にサブスクリプション型で導入を広げ、アジアや米国への事業展開も見込んでいる。

